



# 学校だより

<家庭数> 第3号  
令和3年5月28日発行  
品川区立第四日野小学校  
校長 島崎 一江  
<http://school.cts.ne.jp/hino4/>



## 心をつなげる「あいさつ」

副校長 影山 祥仁

新緑がまぶしい季節になりましたが、「梅雨入り」の情報が気になる今日この頃です。各ご家庭におかれましては、毎朝、お子様の検温やマスクの着用などの健康管理を行っていただきありがとうございます。この度の緊急事態宣言を受け、いくつか延期になった行事もあります。できる範囲で実施するために、教職員一同工夫して取り組んで参りますので、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

5月の全校朝会で、わたしは「あいさつ」の話をしました。それを話そうと思ったきっかけは、地域の方の話を聞いたからです。その方は、「最近、四日野の子どもたちがあいさつを返してくれなくなった。」と話してくださいました。実は私も毎朝子どもたちに朝のあいさつをするのですが、声をかけた半数以上の子どもたちから「おはよう」のあいさつが帰ってこないことを気にかけていました。折しも5月の生活目標はあいさつをしっかりとすることでした。そこで、次のような話をしました。(後半部分のみ掲載します。)

あいさつには次の4つのことが大切だとよく言われています。あいさつの「あ」。「あかるく」です。明るいあいさつを聞くと元気がでます。次に、あいさつの「い」。「いつでも」です。あいさつをしたりしなかったり、その日の気分でするものではありません。あいさつの「さ」。「さきに」です。相手より先にあいさつをしようと心がけることはとても大切です。最後は、あいさつの「つ」。「つづける」です。あいさつはその場だけではなく、続けていくことが大事です。最後の「つ」ですが、「つながり」も大切です。あかるく、いつでも、さきに、つづけていくことで人と人とのつながりができます。マスクをして表情が見えない中、せめて気持ちのよいあいさつで、四日野小を明るく元気なよい学校にしていましましょう。(正門の昇降口には、あかるく・いきいきと・さきに・つたえると掲示しています)

この話を受け、看護当番の先生から「あいさつ相撲」(先生より先にあいさつしたら勝ち)の話があり、更に代表委員が1週間あいさつ当番をしてくれました。四日野小の子どもたちは変わりました。今では、校舎のあちこちから元気なあいさつが聞こえてきます。

「おはよう」だけでなく、「ありがとう」「こんにちは」「すみません」「さようなら」「いただきます」「ごちそうさま」と、あいさつはたくさんあります。どれも当たり前に見えるようになりたいものです。そして、ごく自然に挨拶が交わされる環境の中で、まだ自然に声の出ない子も、まだまだ声の小さい子も、場面に合わせた気持ちのよいあいさつができるようになってくるのではないかと思います。

最後にタレントの松村邦洋さんの言葉を紹介します。「仕事の出来不出来はしようがないと思うんですけど、あいさつは誰でもできるから、あいさつにスランプがあっちゃいけない。握手とあいさつくらい誰でもできる作業はやろうかと…。」